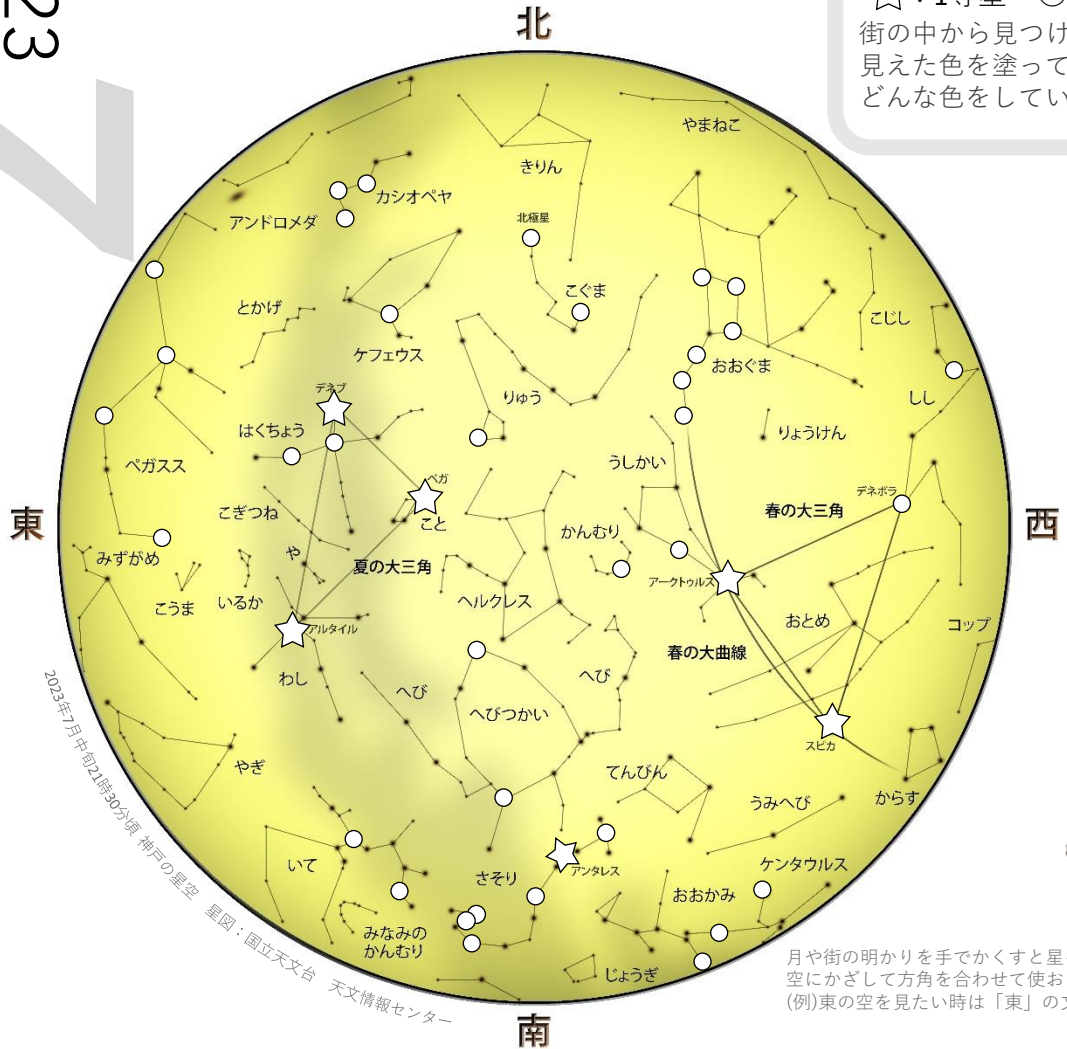


☆: 1等星 ○: 2等星は街の中から見つけられるよ。見た色を塗ってみよう。どんな色をしているかな？



2023年7月中旬21時30分頃の神戸の星空 星図: 国立天文台 天文情報センター

月や街の明かりを手でかくすと星を見つけやすい！空にかざして方向を合わせて使おう！(例)東の空を見た時は「東」の文字を下に向ける

- 1 ○
- 2 ○
- 3 満月 ○
- 4 ○
- 5 ○
- 6 ○
- 7 科学館の観望会 星空ウォッチング ○
- 8 ○
- 9 ○
- 10 下弦の月 ○
- 11 ○
- 12 ○
- 13 ○
- 14 ○
- 15 ○

- 16 ○
- 17 ○
- 18 新月 ○
- 19 ○
- 20 ○
- 21 ○
- 22 ○
- 23 ○
- 24 ○
- 25 天体観測室特別公開 ○
- 26 上弦の月 ○
- 27 ○
- 28 ○
- 29 ○
- 30 ○
- 31 ○

スタッフのイチオシ星

金星探しにチャレンジだ！

今年に入ってから少しずつ明るさを増してきた「金星」。

7月7日には見かけの明るさが最大（最大光度）になります。

このとき、金星を望遠鏡で見るとどのような形をしていると思いますか？

金星は地球よりも太陽の近くを回っている惑星のため、地球からは満ち欠けをしているように見えます。

最大光度のころの金星を望遠鏡で見ると、細長い三日月のような形をしているんです！

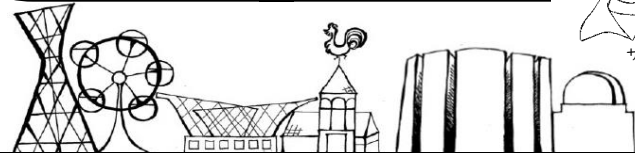
夕方は西の空を見上げて『金星探し』に挑戦してみてくださいね！



7月7日の金星 (イメージ画像) StellaNavigator12/AstroArts



サイエンススタッフ かしはら



今夜の月をスケッチしよう！（月の満ち欠けの様子）